

長久手未来まちづくり 長期ビジョンにむけた4つのテーマ（案）

全体テーマ

ながくてびと

長久手人が未来を拓くー市民こそブランド、わいわい市民がまちを育てるー

個別テーマ

1 わいわい老若男女が繋がるまちづくり（人をつなぐ）

- (1) 世代を超え、地域を越えて人々がつながる。
- (2) 当事者意識を持って行動する市民を育てる。

2 地域資源の発掘・拡充・活用をはかるまちづくり（場をつなぐ）

- (1) 市街地の緑を増やし、丘陵地の自然を守ることにより、人々が憩える緑をつなぐ。
- (2) 大学群が持つ機能と空間を子供から大人までが使いこなす。
- (3) 市民の移動を容易にする空間と仕組みをつくる。

3 顔が見える、あったかまちづくり（時をつなぐ）

- (1) 家族の成長に合わせて支えあうコミュニティをつくる。
- (2) いつでも帰ってこられるホームタウンにする。
- (3) 地域の歴史と文化を継承し、生涯を通じて学び成長する。

4 チャレンジする文化を育て、希望を支えるまちづくり（夢をつなぐ）

- (1) 誰もが何歳になっても役を担いチャレンジできる。
- (2) 大学生などの若者の夢をまちぐるみで育てる。

上記が2050年の本市のあるべき「まちの姿」の案とすると、それを実現するためには今から継続して取り組んでいく活動が求められています。委員の方々からもいくつか提案がありました。そのための行動として、長久手ならではの特徴を活かした取組みが考えられます。

取組みの方向性（案）

- 1 コンパクトなまちの規模を活かし、全国に発信できる全市民レベルのイベントを皆でつくりあげる。
- 2 市内および市外近傍に多くの大学が存在する特徴（大学のまち）を活かし、大学と地域との連携による取組みをはかる。
- 3 煩わしさをいとわず、夢やチャレンジにつなげる。